



和歌山県・紀の川市 地域事業者5社の連携による新しいまちづくり会社が誕生 官民連携による次世代の地域社会モデルの創出を目指します

まちづくり会社設立にともなう共同記者発表会のご案内

紀の川市（市長：岸本健）がこれまでに実施した事業をきっかけとして、多様な地域課題にビジネスを通して取り組む異業種連携型のまちづくり会社「紀の川流域カンパニー株式会社」が紀の川市を中心に事業を行う5社（紀ノ川農業協同組合、有限会社熊井自動車、株式会社船木建設、いわつるfam.、株式会社MISO SOUP）による共同出資により設立されました。

このたび、下記日程で紀の川市と紀の川流域カンパニー株式会社による会社設立にともなう共同記者発表会を開催しますので、報道機関の皆様にご案内させていただきます。

記

共同記者発表会の概要

【日時】

令和6年11月27日（水） 午後1時30分～2時30分

【場所】

紀の川市役所 本庁舎 3階庁議室（和歌山県紀の川市西大井338）

【出席者】

< 紀の川市 >

紀の川市長 岸本 健

< 紀の川流域カンパニー株式会社 >

宇田 篤弘（紀ノ川農業協同組合）

高瀬 直志（有限会社熊井自動車）

船木 進也（株式会社船木建設）

岩鶴 和昭（いわつるfam.）

北川 智博（株式会社MISO SOUP）

【内容】

- ① 紀の川流域カンパニーの地域課題解決型ビジネスについて
- ② 行政が目指す官民連携による持続可能な地域社会モデルについて
- ③ 官民連携で目指す地域のビジョンについて

地域課題解決型まちづくり会社「紀の川流域カンパニー」

業種の異なる5つの地域事業者がそれぞれの持つ強みを活かし、ビジネスを通して地域課題に取り組む会社です。

紀の川市では、農業の担い手減少による耕作放棄地の増加や空き家問題といった地域課題が年々深刻化しています。

このような地域課題に対し、紀の川流域カンパニーでは体験観光農園事業として、耕作放棄地を再生させて体験農園園地を造成するとともに、空き家をリノベーションして短・中期滞在できる宿泊施設を整備します。また、それらの事業を通して、新たな地域プレイヤーを創出する仕組みの開発に取り組んでいきます。

紀の川市の強みでもある多様な栽培品目を活かし、年間通して様々な農業体験が楽しめるEdutainment サービス＜教育（Education）×Entertainment＞を開発し、何度も紀の川市に訪れていただける事業を展開する予定です。



地域をむすんで、未来をひらく

紀の川流域カンパニーと共同で記者発表を行う事に至った背景

紀の川市では、令和4年度に地域商社立ち上げに向けた検討業務として実施した地域事業者を対象としたヒアリング調査や先進地視察をスタートとして、地域事業者の参画を得て、令和5年度、6年度に異業種連携によるビジネス創出支援業務に取り組んでまいりました。

紀の川流域カンパニーはそれらの市の事業への参加を通じて出会った地域事業者が中心となり、民間主導による地域課題解決を念頭においたビジネスに取り組むまちづくり会社として設立するものです。

紀の川市としては、今後、様々な地域課題解決に向けた取組を官民一体となり進めるための重要なパートナーとして同社を位置づけ、共に紀の川市の未来を切り拓き、持続可能なまちづくりを進めるための出発点として、共同での記者発表会を開催させていただくこととなりました。

【本件に関する問い合わせ先】

紀の川市役所 企画部企画経営課 担当：東日出樹・西端克典

TEL：0736-77-2511 FAX：0736-77-4910 E-MAIL：k030600-001@city.kinokawa.lg.jp

紀の川流域カンパニー株式会社 広報担当 北川智博

TEL：090-6289-4690 E-MAIL：kitagawa@misosoup.co.jp